
3つの顔を持つ女。

naka123na

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

3つの顔を持つ女。

【コード】

N8098S

【作者名】

n a k a 1 2 3 n a

【あらすじ】

3つの顔をもってる女の子の人生の物語。

2つの顔の正体。

私は雨ノ宮のえる（仮）。「普通の女の子！」と、言いたいところなんです…

（仮）が付いてる時点で分かった人もいるかもしれないんですが、私、普通じゃないんです。

「なんで普通じゃないかって?? すぐにわかりますよ（笑）」
グググ… 頭痛だ…「仕事が入ったみたい」私は指を空に向け、呪文を唱えた。

私はサレイアの姿になり、場所も移動した。

私はスターレに言った「スターレ！今日の仕事はなんだ？」と聞いた
スターレ「このパーティーを台無しにしてきてくださいサレイア様」
サレイア「ああ、分かった。」

もう分かった人もいるかもしれない、サレイアは悪の女王だ。

サレイアはパーティー会場についた。

ほかの何にも知らないパーティーに呼ばれた者は「あの方おきれいですわ」などとサレイアが美人のためそう噂していた。

サレイア（ばかね…私はすべてを台無しにしてきたのにね…）そんなことを考えながら

自分がやったとばれないように魔法を唱えだした。

「ボオン！！！！！！」

パーティーに呼ばれた者たち「きゃああああああ！！！！！！」

サレイアはパーティー会場を出た。

スターレ「さすがです！サレイア様！！！！」

サレイア「ああ……………」

「スターレ、先に帰っててくれるか？」

スターレ「でも、あの、サレイア様……」

サレイア「大丈夫だ」私は笑顔でこの言葉を言った

スターレ「はっはい！」スターレはここで帰って行った

続く。

サレイアの本音

スターレが帰って行ってから、私は目に涙を浮かべた。サレイア

サレイア「ああ…私が悪の女王だからこんなことまでしなきゃいけないの…？神様の意地悪…私は本当は普通の子として生まれてきたかったのに、なんで？なんで？こんな姿で生まれてきてしまったの？親もいないし、おまけにこんな仕事までさせられて…ひどいよ。ひどいよ神様ああああ！！！」

そう叫んだサレイアは目が乾くまで涙を流しその場所そのまま寝てしまった。

？「美女発見よし、こいつはおれのものにしてやる」

連れ去られたサレイアそして最後の顔の正体

・・・サレイアは鉄の牢獄のような場所で目を覚ました。

サレイアは「ここはどこ・・・？」と暗くてろっそくが1本あるだけの部屋でサレイアは目を覚ます。

？「やつと目覚めたか。」

知らない男がつぶやく。

サレイアは「ここはどこ？」とその男に聞いた。

知らない男はこう答えた「ここは俺のアジト。ここに来たからには俺の獲物になつてもらうぜ？」

サレイアは震えた声で「あなたはだれ？」と聞く。

？「俺は美人を食いつくす怪物だ。名はゼリア。」

サレイアの体が震える。

サレイアは「助けてー！っつ！っ！」と大きな声で叫んだ。

ゼリアはサレイアの口をふさいで「黙れ！」と脅す。

「仕方ないな・・・」

サレイアはゼリアを振り払って

そしてサレイアは人差し指を上に向け呪文を唱える。

サレイアは剣士のロディカに姿を変え「早く去れ」と睨みつけて言う。

だがそんなことはどうでもいのようにゼリアも姿を変えだした

ロディカは人間じゃない姿に為っていつているのを気持ち悪そうに今は見るしか無かった。

変わった姿は口が大きくロディカの100倍くらい大きくて目が赤く光り体が緑っぽい気持ち悪い色の怪物そのものと言ってもいいくらい姿。

だれが見てもこれはロディカに勝ち目はないだろう。

ただロディカは戦う自分を守るために・・・

ロディカ×怪物ゼリア（前書き）

戦うロディカの運命は
：

ロディカ×怪物ゼリア

「ゼリア！残念だけど私はあなたに食べられるということは出来な
いわ！」ロディカは強くきれいな瞳で言う。

ゼリアは何も聞こえていない様にロディカを睨みつける。

そしてゼリアはロディカを攻撃し始める。

ロディカは優雅に攻撃をかわしていく。

「その程度なの！？怪物さん！」ロディカは余裕な表情で怪物のゼ
リアを挑発した。

その時怪物のゼリアはニヤツつとあやしい表情で微笑んだ。

それに築かずにロディカは余裕で攻撃をかわしていく。

「じゃあそろそろこっちからも攻撃しちゃおうかな？」ロディカは
腰から剣を抜きだす。

その時ゼリアの攻撃がロディカにあたってしまったのだ。

「きゃあっ！」ロディカの腕から血が流れ落ちる…。

ロディカはその場に膝まづいてしまった。

それをキツカケにガツガツとゼリアに攻撃されていく。

「もうだめだわ…」ロディカがそう思ったその時…

ロディカ×怪物ゼリア（後書き）

次回新キャラ登場です！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8098s/>

3つの顔を持つ女。

2011年10月9日01時06分発行